



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs推進課
☎0920(53)6111

SDGs達成期限まであと5年前。万博をきっかけに加速化を

今年は万博イヤー。4月13日から、いよいよ2025年日本国際博覧会（「大阪・関西万博」）が始まります。

万博とは何か。日本国際博覧会条約には「将来の展望を示す」ことで「公衆の教育」を目的とすると記されています。つまり、万博は、地球規模の課題解決のために、世界中の人・知識・技術・モノが集まり、それらを伝えることで、人類の展望を見出そうとする場なのです。

地球温暖化による気候変動、プラスチック廃棄物の増加、絶えることのない紛争と貧困、食糧不足など、現代社会は数々の解決困難な課題に直面しています。

このような背景から2015年に生まれたのがSDGsです。「2030年までに、みんなが一緒になって自分たちの未来のために17の目標を達成しよう！」と世界中の人々に参加と行動が呼びかけられています。世界の環境、社会、経済がつながり合い、世界的な危機はエネルギーや物価高騰、自然災害など対馬の暮らしに影響を及ぼしていることから、対馬市は「SDGs未来都市」としてSDGsの推進に力を入れています。

SDGsの目標達成の期限まであと5年。ウクライナ紛争や政治的な不安定さなどもあって、目標達成は厳しい状況ですが、万博という「将来の展望」を示す場は、SDGsの取り組みを加速させる絶好の機会となります。

この万博では、海の社会課題解決を目指すバビリオン「ブルーオーシャン・ドーム」が設けられます。主催者であるNPO法人ZERI JAPANの催事共催パートナーとして、対馬市が6月16日から22日までの1週間「対馬ウィーク」として、海ごみや磯焼けなどの現状、課題解決に向けた取り組みを発信するイベントを行います。対馬だけでは解決が困難な地球規模の課題について、万博によって世界中から集まる人・知識・技術・モノと対馬がつながることで困難を乗り越え、誰もが夢と希望を持てる持続可能なしまの実現を目指します。

対馬ウィークの詳しい情報については、改めてお知らせします。みんなで万博を盛り上げていきましょう。



ブルーオーシャン・ドーム ©ZERI JAPAN
【公式サイト】
<https://zeri.jp/expo2025/> をご覧ください



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

2月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

蔵書点検による休館のお知らせ

蔵書点検のため、2月7日(金)から2月20日(木)まで休館します。蔵書点検期間中の返却は、返却ボックスをご利用ください。皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしく申し上げます。

新刊



一般書

人魚が逃げた

(PHP研究所)

青山 美智子/著

銀座の町をさまよい歩く「王子」と名乗る謎の青年が起こした「人魚騒動」。その裏で5人の男女が「人生の節目」を迎えていた。銀座を訪れた5人を待ち受ける意外な運命とは。

新刊



児童書

おかず鍋

あとは白いご飯があれば、献立の出来上がり

(Gakken)

吉田 愛/著

材料を切ったらあとは煮るだけ、簡単なのに栄養バランスもバッチリで後片付けもラクラク！おかずと汁ものを兼ねる「おかず鍋」を材料別に紹介してくれる一冊です。

新刊



児童書

おめんです4

(偕成社)

いしかわ こうじ/著

ツタンカーメンのおめにロボットのおめん。おめんをとると…!?読み聞かせやファーストブックにおすすめの赤ちゃんから楽しめるしかけ絵本シリーズ最新作です。

新刊



児童書

おしりたんてい
かいとうウのおとしもの

(ポプラ社)

トルロ/著

おしりたんていに、落とし物探しの依頼が届いた。差出人は、かいとうウ。彼が落とした物の正体とは？そして、それを探す目的とは？大人気シリーズ最新作です！



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs推進課
☎0920(53)6111

豊高生×ブルーオーシャン・イニシアチブとの交流対話

対馬SDGsパートナーである長崎県立豊玉高等学校では「総合的な探究の時間」においてSDGsに関する学習に取り組んでいます。2年生は、海洋ごみ、磯焼け、ジェンダー平等、林業をテーマにグループで探究してきました。1年生は、海の社会課題解決に向け、今後取り組むテーマ（藻場再生、海ごみ削減、漁村活性化）を設定しました。

探究学習をさらに深めるべく、1・2年生合同の修学旅行において、学習の成果を島外の関係者に発表し、外からの専門的な視点で意見や助言をいただくため、対馬市と連携協定を締結している「一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ」（以下、BOI）の事務局企業（電通）が入居している大阪市中之島のオフィスビルを訪問し、高校生と企業人との交流対話を実施しました。

交流対話ではまず、BOIや会員企業（ロート製薬・イノカ）の概要・海の社会課題解決に向けた取り組みの講話を聞き、豊玉高校からは生徒代表者が高校の概要や探究学習の成果を発表しました。お互いのことを知った後、グループに分かれ、1・2年全8班の学習成果を説明し、企業の皆さんから様々な意見・助言をいただきました。交流の後「トライアンドエラーではなくトライアンドラーンが大切。挑戦から何を学び、次につなげるか。それを繰り返しながら、持続可能な社会の担い手としての活躍を期待しています」などと企業の皆さんから豊高生に対して力強いエールが送られました。

海の社会課題に関する探究学習の成果は、今年6月に開催予定の万博ブルーオーシャン・ドーム「対馬ウィーク」において発表予定です。今回の交流対話を踏まえ、探究学習の内容をさらに磨き上げていきます。



2024年12月18日、修学旅行での交流対話の様子

探究学習の成果を説明し、企業の方々から、様々な意見・助言をいただきました



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

リサイクル資料の提供について

3月1日(土)から、図書館資料としての役目を終えた本や保存期限の切れた雑誌をリサイクル資料として来館者の皆さんに無償で提供します。先着順、無くなり次第終了しますので、興味のある方はぜひ足を運んでみてください。

なお、配布予定の資料に関するお問い合わせや取り置きのご要望にはお応えできませんので、ご了承ください。

3月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

新刊



ドヴォルザークに染まるころ
(光文社)

町田 そのこ/著

廃校が決まった小さな町の小学校。最後の秋祭りに集う人たちの、過去と現在、そして未来が交差する。小さな町で、それぞれの人生を自分らしく懸命に生きる女性たちを描いた感動作です。

新刊



この日本語、どこからきたニャン? 語源図鑑
(サンクチュアリ出版)

猫野 シモベ/著

「やばい」「めっちゃくちゃ」…など、普段なにげなく使っている言葉の語源が、かわいい猫の写真とイラストに癒されながらまるわかり！日本語の奥深さを楽しめる1冊です。

新刊



おだんごどん リベンジ
(マガジンハウス)

ガタロー☆マン/著

前作でおつかいに失敗したケンちゃんが、おつかいにリベンジ！はたしてリベンジに成功するのか!?「失敗してもやり直す勇氣」と「友を想う氣持がもつ強さ」を教えてくれる絵本です。

新刊



劇場版レッツゴー！まいぜんシスターズ 家族再会
(ポプラ社)

石崎 洋司/著
林 佳里/絵

まいぜんシスターズの大人気長編動画「劇場版家族再会」がついにノベライズ化！ぜんいちとマイツキーのはじめての出会いと冒険の物語を小説で楽しんでみませんか？



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs推進課
☎0920(53)6111

対馬ブルーカレッジ「事業構想計画」成果発表会を開催します！

令和6年6月に開講した「対馬ブルーカレッジ」。島内外12人の受講生が、対馬の海ごみや磯焼け対策、水産資源保全などの海の社会課題の解決を図るため、新たな視点で事業を構想してきました。

その事業構想計画の成果発表会を3月29日に開催します。市民の皆さん、特に海に関するお仕事をされている方、海の社会課題解決に関心のある方の多数のご参加をお待ちしております。

発表者・タイトル一覧

発表者	事業構想計画のタイトル
釜坂 綾	対馬の海・水産業をPR！身近に学べる海洋教育施設
木原 綾大	水産資源のコールドチェーンイノベーション 食で繋がるプラットホーム
久保 幹太	魚つかみ取り体験、および環境保全教育で持続的日韓親善
齊藤ももこ	食でつながり、共につくる。海と山プロジェクト
島田 真典	ものづくりでトライする藻場保全
周木 康記	対馬エコラベル協会発足～対馬の持続可能な環境保全へ～
たろう 田雑 陽介	銀行に行けば解決～海業に関する人財・情報のマッチングプラットホーム
築城 慎一	対馬の漁師から鮮度そのまま直行便～対馬の美味い直接届く～
津田 祐樹	対馬ブルーファンドプロジェクト ～対馬を海洋環境保全技術の集積地に～
原田 恵理	人と人をマッチング～漁業女子誘致ツアー計画～
舩原 希実	海カフェ構想～海とコーヒーで人と人を繋げる～
丸尾 勝俊	漂着ゴミ回収イベントと回収ゴミの活用について

と き 3月29日(土) 10:00～13:00

※昼休憩は挟みません

ところ 対馬市交流センター3階

参加費 無料 ※途中参加・退席自由

申込み 不要

※オンライン参加ご希望の場合は、右図からお申込みください。オンライン参加用のURLをお知らせします。



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館日

転出・転居予定の方へ

図書館で借りた本や雑誌など返し忘れはありませんか？本の返し忘れにご注意ください。図書館が閉まっているときは返却ボックスをご利用ください。



『謎の香り』
(宝島社)

土屋 うさぎ/著

大阪のとあるパン屋でアルバイトをしている大学生の小春。そこに持ち込まれる数々の謎を解決するのは小春の推理力！焼きたてのパンの香り漂う〈日常の謎〉連作ミステリーです。

『脳にいいこと』すべて試して1冊にまとめてみた
(サンマーク出版)

平井 麻依子/著

医師である著者が自身の脳手術による後遺症へ立ち向かうため、世界中の脳科学のエビデンスを自分の脳で実験。脳のコンディションを整える方法がまとめられた一冊です。

ちいかわ 人生のことわざ
(講談社)

ナガノ/著

かわいい見た目とは裏腹に色々なことが起こる「ちいかわ」の世界は、ことわざを勉強するのにぴったり！大人から子どもまで楽しめる、かわいくて分かりやすいことわざ本です。

ピカチュウとうみのたからさがし
(小学館)

まつお りかこ/著

ピカチュウたちはポツチャマが持っていた宝の地図をもとに宝探しの冒険へ出かけます。洞窟、浜辺、海の中…ピカチュウたちと一緒に宝探しを楽しんでみませんか？



みんなで取組もうSDGs

問い合わせ
SDGs戦略課
☎0920(53)6111

うみのものがたりを、ここからはじめましょう！

～書籍『あおいほしのあおいうみ』～

対馬市と連携協定を締結する関西経済同友会より、書籍『あおいほしのあおいうみ』を市内全児童生徒にご寄贈いただきました。

この本は、大阪・関西万博「ブルーオーシャン・ドーム」を出展するNPO法人ZERI JAPANと公益財団法人ブルーオーシャンファウンデーションが企画。SDGsゴール14「海の豊かさを守ろう」を中心テーマに、誰もが海について楽しく学べるビジュアルブックとして、一般社団法人Think the Earthが編集・執筆しました。

谷川俊太郎さんの詩『うみ』に始まり、海の誕生や生命の進化、陸と海のつながり、環境問題、海の未来の仕事まで、海のことをより広く、そして深く感じることができる本です。その中で、何と対馬のことが15ページにわたって紹介されています。

市内の学校ではさっそく学習の教材として活用いただいています。また、島外の多くの学校でもSDGsに関する学習教材として導入されています。万博の開幕日である4月13日には英語版が発行され、ブルーオーシャン・ドーム内での発売が始まりました。

この本のおわりには「うみのものがたりを、ここからはじめましょう」と記されています。この本と万博がきっかけとなり、島内外のより多くの方が、対馬のこと、そして対馬の海の現状を知り、未来に向けた展望をみなで開き、行動を共にできればと願っています。つしま図書館並びに各地区公民館内の図書室でもご覧になれますので、是非ご一読ください。



海のことを楽しく学べる
ビジュアルブックです



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

○図書館カードをお持ちですか？

図書館の本を借りる際は図書館カードが必要です。カードがあれば2週間で10冊まで借りることができます。マイナンバーカードや運転免許証など本人確認ができるものをお持ちのうえ、図書館のカウンターまでお越しください。

5月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

新刊



月とアマリリス
(小学館)

町田 そのこ/著

白骨化した遺体と花束らしきものが山中で発見された。地元タウン誌のライターみちに事件を追うよう依頼が来て…。本屋大賞作家である筆者初のサスペンス巨編です。

新刊



そんなときは
書店にどうぞ
(水鈴社)

瀬尾 まいこ/著

筆者の書店と映画『夜明けのすべて』への愛とユーモア溢れるエッセイと、ベストセラー『幸福な食卓』のその後を描いた短編小説を収録。思わず笑みがこぼれること間違いなしの一冊です。

新刊



ちいちゃんのおもちゃたち
(理論社)

斉藤 洋/著 武田 美穂/絵

ちいちゃんのおもちゃたちは、ちいちゃんや家族が見てないときに、おもちゃ同士で遊んだり、冒険したり、秘密の時間を過ごして…。低学年から楽しめるおもちゃたちのお話です。

新刊



いっこにこねこ
(ひかりのくに)

しまだ はるお/著

猫と一緒に「いっこ、にこ、ねこ」の繰り返しで楽しく数をかぞえられる数の絵本です。数に興味を持ち始めた子と一緒に親子でリズムよく声に出して楽しく読んでほしい一冊です。



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs戦略課
☎0920(53)6111

全校生徒・地域みんなで取り組むSDGs

SDGsの達成に向けて市やSDGsに取り組む企業や団体などがパートナーズとして連携・協力を目指す「対馬SDGsパートナーズ」に、新たに対馬市立豊玉中学校が加わりました。生徒が主体となってパートナーズに参加したのは初めてです。豊玉中学校では総合的な学習の時間でSDGsについて学習したことなどをきっかけに、生徒会が主導して、すべての生徒が安心して通える学校を目指した校則の改正や、それに伴うジェンダーレス制服の導入、地域の方を巻き込んでの不用品回収などに取り組んでいます。特に校則の改正やジェンダーレス制服の導入については令和4年度の生徒会からスタートし、全校生徒での討論会を実施したり、保護者への説明やアンケート調査などを経て、今年度から夏服を変更することに成功（冬服も令和8年度変更予定）。また、令和6年度は寄付を目的とした不用品回収に全校生徒が役割を持って取り組み、分析や工夫を重ね、当初学校内を対象としていた回収範囲を地域規模に拡大し、行政や地域の方の協力を仰ぎながら多くの不用品を回収することができました。



不用品回収のために作ったBOXやポスターを手にする生徒会メンバー。スーパーでチラシを配ったり、地域のお店にポスター掲示をお願いしたり、試行錯誤しました。

生徒会のメンバーからは「地域の方の協力的な姿勢のおかげで実施でき、感謝している」「対馬という離島からでもこういう活動ができることをみんなに知ってほしい」という声もあり、今後の活躍にも期待しています。



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

はじめての方もそうでない方も

図書館がどこにあるかご存じですか？対馬市交流センター（ティアラ）の4階に市立図書館があります。1階2階でのショッピングのついでにぜひお立ち寄りください。図書館カードをつくっておけば2週間で10冊まで借りることができます。

新刊



一般書

ヨイヨワネ あおむけ編
(ちくま書房)

ヨシタケ シンスケ/著

「ヨイヨワネ」とは「良い弱音」という意味です。ネガティブな言葉と見なされがちな「弱音」を反転させ、にやりと笑えてちょっと元気が出る（かもしれない）スケッチ集。魂が疲れ気味のあなたへ。

新刊



今日もネコ様の圧が強い
(KADOKAWA)

うぐいす 歌子/著

超マイペースな2匹のネコ、キジネコ様とクロネコ様。どんなにネコ様がツンツンしていても、かわいくてしょうがない…！そんなネコ様を溺愛する人間と猫のすれ違いを描いたコミカルな猫漫画。

新刊



児童書

のびる国語
最強の読解力
(KADOKAWA)

青木 伸生/監修

この1冊で、文章が面白いほど読めるようになる！大人気「のびる国語」シリーズの最新刊！この1冊で、読解の基本や説明文・物語文などの読み方のコツを完全マスター！

新刊



あざらしカフェ
(白泉社)

ナカオ マサトシ/文
うよ 高山/絵

あざらしカフェは、水族館が休みの日にだけオープンするお店。このお店すべてが「のんびり」せっかちで有名なサメのサメごろろがやってきて…大ピンチ！店内の細かな描写も楽しい1冊です。



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs戦略課
☎0920(53)6111

“デジタル波絵馬”に「海の未来への願い」を込め、万博会場へ届けよう！

6月16日より、大阪・関西万博ブルーオーシャン・ドームで「対馬ウィーク」が始まりました。ステージや展示、映像などで対馬の海の現状や課題解決に向けた取り組みを続々と発信しています。

対馬ウィークのテーマは「東アジア津梁の島・対馬とともに願う海の未来」。海洋汚染や海の温暖化などによって、弱々しくなってしまった海の神「おとーしゃ※」の本来の美しい姿を取り戻すため、海への思いをみんなで高めていくことを求めています。

そこで、日本人の心に根付いている「願をかける」という行為をモチーフに、絵馬に「海の未来への願い」を込め、万博会場に届けるイベントを4月13日に対馬市交流センターで開催しました。

波の形状をした絵馬は、市民の皆さんから、そして対馬の海岸から回収されたペットボトルキャップをアップサイクルしたもの。メッセージが記入された波絵馬は、万博会場の「願掛け処」（対馬に漂着した流木製）で掲げられています。

さらに多くの方々にメッセージを届けていただきたく「デジタル波絵馬」のウェブサイト을設けました。海への思いを記し、みんなで共有することで、美しく豊かな対馬の海を取り戻し、次世代につないでいきましょう。皆さんの「海の未来への願い」を万博会場へお寄せください。お待ちしております。



対馬ウィーク催事スケジュール：
<https://zeri.jp/expo2025/blue-ocean-studio/timetable/?week=2025-06-16>

ステージ発表YouTubeライブ配信：
https://www.youtube.com/@EXPO2025_BLUE_OCEAN_DOME



※おとーしゃは、金沢美術工芸大学の学生が対馬の神話の世界観をモチーフにデザインしたオリジナルキャラクターです。



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

図書館の本を予約できるのはご存じですか？

読みたい本が貸出中で借りられない…そんなときは予約がオススメです。図書館カードがあれば、図書館の本はいつでも予約可能です。詳しくは図書館のカウンターでお尋ねください。

7月の休館日

■ 休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

新刊



一般書

レシピ未満のおいしい食べ方
(ダイヤモンド社)

藤井 恵／著

おいしくするためのコツを丁寧に紹介する本書。豊富なプロセス写真で、見るだけでよくわかる。レシピの行間を埋める内容です。感覚的につくれる60品。簡単なのに料理がうまくなっている！

新刊



午前零時の評議室
(光文社)

衣刀 信吾／著

第28回日本ミステリー文学大賞新人賞受賞作。事件を担当する弁護士の羽水は検察のストーリーに疑問を抱き、見逃された謎に着目する。伏線だらけのタイムリミット脱出劇。

新刊

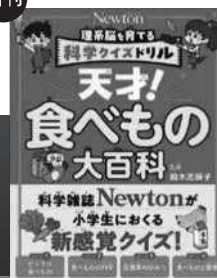


モモ（絵本版）
(光文社)

ミヒャエル・エンデ／文
シモーナ・チェッカレッリ／絵
松永 美穂／訳

こわれかけた野外劇場に住んでいるという女の子。最初はあやしいと思われていたものの、たくさんの人たちがモモに会いにきました。ミヒャエル・エンデの名作刊行50周年を記念して企画された絵本版。

新刊



科学クイズドリル 天才！
食べもの大百科
(ニュートンプレス)

鈴木 志保子／監

科学雑誌Newtonが小学生におくる新感覚クイズ！「カンビョウって何からできてるの？」「パンはあの武器とともに日本にやってきた」など、思わず「へえ！」と言いたくなる雑学クイズを全59問収録。



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs戦略課
☎0920(53)6111

沖縄県竹富町と「ブルーアイランド共同宣言」を発信

大阪・関西万博ブルーオーシャン・ドーム「対馬ウィーク」の最終日（6月22日）、友好都市である沖縄県竹富町とともに「ブルーアイランド共同宣言」を発信しました。

対馬市と竹富町は平成28年7月7日に友好都市協定を締結して以来、ヤマネコを自然の豊かさの象徴として相互交流し、生物および文化の多様性の保全と持続的な発展に努めてきました。両島はともに美しく豊かな海で囲まれています、その海が危機に瀕しています。地球規模での環境問題が深刻化し、海洋プラスチック汚染、海藻や海草の消失、海面上昇など、共通の海の社会課題に直面しています。

そこで、両島では「海の蘇生」をテーマとするブルーオーシャン・ドームにおいて、海の社会課題と今後の方向を共有した上で、対馬ウィークのレガシーとして、国内外に対して共同宣言を発信し、地域、国同士の団結と行動を呼びかけました。

来年の7月、友好都市締結10周年を迎えます。海の分野での「連携と交流」をさらに強化し、SDGsゴール14「海の豊かさを守ろう」の達成に向け、取り組みを発展させていきたいと思ひます。



ブルーアイランド共同宣言を発信する、前泊正人竹富町長と比田勝市長。対馬野生生物保護センター勤務経験があり、ツシマヤマネコとイリオモテヤマネコ並びに海の保全に詳しい山本以智人環境省国立公園保護管理企画官（奄美群島国立公園管理事務所）が立会



共同宣言の様子はブルーオーシャン・ドームのYouTubeチャンネルでご覧いただけます



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

『読書感想文全国コンクール』『長崎県読書感想文コンクール』の課題図書を準備しています。予約・貸出はできますが、貸出期間の延長はできませんのでご注意ください。

8月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

新刊



一般書

13歳からの国際情勢

(扶桑社)

島根 玲子/著

現役外交官が世界のニュースを「そもそも」から解説する一冊です。国際問題の背景をわかりやすく説明し、ニュースの理解を深める手助けをします。大人も子どもも楽しめる内容です。

新刊



児童書

嘘と隣人

(文藝春秋)

芦沢 央/著

定年退職した元刑事が主人公の連作短編集。日常に潜む違和感や静かな悪意が、やがて嘘となり、人間関係に亀裂を生む様子を描く。心理戦と現代社会の問題が交錯するミステリーです。

新刊



児童書

マインクラフト／ザ・ムービー

(技術評論社) Mojang AB/著
デヴィッド・リュウマン/翻案
牛原 真弓、小林 真弓/訳

大人気ゲーム「マインクラフト」の世界を舞台にした公式ノベライズです。「オーバーワールド」に足を踏み入れた5人の冒険者が、ビグリンやゾンビなどのキャラクターと対峙します。

新刊



ぱんたのおさじとせっけんぱんた

(ポプラ社)

柴田 ケイコ/作

お風呂嫌いのもぐら・のんたが主人公の絵本です。せっけんぱんたを湯につけると、小さなパンダの「おさじ」が登場し、魔法のような泡で体をピカピカに。お風呂の楽しさを伝える物語です。



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs戦略課
☎0920(53)6111

被爆80年。核兵器のない世界の実現に向けて

2025年8月9日午前11時2分。原子爆弾投下による爆風、熱線、放射線により、一瞬で約7万4千人の命が奪われたあの日から80年が経ちました。

その間、被爆者数は年々減少。高齢化も進み（対馬市内の被爆者数は27人、平均年齢90歳）、長崎県全体として、被爆の実相や核兵器廃絶への取り組みをどのように継承していくかが課題となっています。

中東やウクライナをはじめ、世界では今もなお多くの紛争が続いています。世界経済フォーラムは、2025年の最大のリスクとして「国家間の武力紛争」を挙げています。そして、日本原水爆被爆者団体協議会のノーベル平和賞受賞演説で「核のタブー」が壊されようとしていることへの強い懸念が示されたように、2025年は核の脅威が一層高まっていると言われています。

核の脅威を乗り越えるためにも、長崎を最後の被爆地とするためにも、被爆者の方々の記憶とメッセージを一人でも多くが語り継ぎ、平和への行動を加速化させることがますます重要ではないでしょうか。実は、SDGsの前文で「平和なくして持続可能な開発はあり得ず、持続可能な開発なくして平和もあり得ない」と謳われているにもかかわらず、SDGsの17の目標と169のターゲットでは核兵器についてまったく触れられていません。国際社会は今、2030年以降の新たな目標を議論しています。核は平和の根底を揺るがすような脅威であり、核に関する何かしらの言及はSDGsの後継目標には必須であるはずです。みなさんであれば新たな目標をどのように思い描きますか？



2025年のリスクランキング
データ：世界経済フォーラム
『グローバルリスク報告書』



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

先月発表された第173回芥川賞・直木賞受賞作やノミネート作など受賞作品コーナーに特集しています。読みたい本が貸出中のときは予約をおすすめしています。詳しくは図書館の職員までお尋ねください。

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

新刊



一般書

問題。

(朝日新聞出版)

早見 和真／著

小学6年生の十和は、中学受験を通して自分の居場所を探す。母の強引な決断、父との対立、祖母への思い。受験という「問題」を通して家族の絆を見つめ直す感動作です。

新刊



児童書

すごい長崎

(新潮社)

下妻 みどり／著

長崎在住50年の著者が、地理と歴史を掘り下げて「辺境」の町の魅力を解き明かす。忠臣蔵の元祖や踏み絵の謎など、知られざる長崎の姿に迫る知的探訪の一冊です。

新刊



ぶたすけのラッパ

(ポプラ社)

やまざき ひろし／作
柴田 ケイコ／絵

森のほいくえんに通うぶたすけは、頭のラッパで「プー！」と元気いっぱい。ある日バスに閉じ込められた彼が鳴らしたラッパが命を守る。SOSの大切さを伝える絵本です。

新刊



クリームソーダに
になりたいアザラシちゃん
(大泉書店)

古川紙工／監修・絵
わだ ことみ／構成・文

ふわふわ夢見るアザラシちゃんが、あこがれのクリームソーダをめざす癒し系文具シリーズ。古川紙工の遊び心とやさしい世界観が詰まった、心ときめくアイテムです。